

2024年5月1日付 品質&ロジスティクスセンターの 組織変更について

この度、会社側より「2024年5月1日付 品質&ロジスティクスセンターの組織変更について」の申し入れを受けました。諮問内容および現時点でのヌヴォトンテクノロジージャパン労働組合（以下、NTJ労組）のスタンスを報告します。

～ 申し入れの要旨 ～

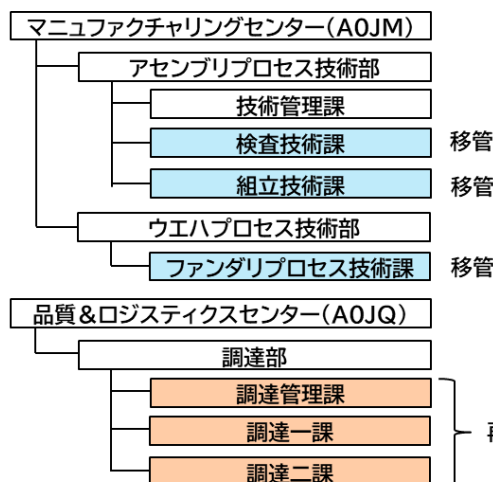
1. 背景および主旨

Nuvotonグループの経営強化ならびに機能統合による事業基盤の強靱化を加速するため、これまで推進してきたコーポレートレベルでの「Integration1.0」からオペレーションレベルの機能統合を推し進める「Integration2.0」にその軸足を移し、さらなる競争力の強化と生産性の向上を目論みます。

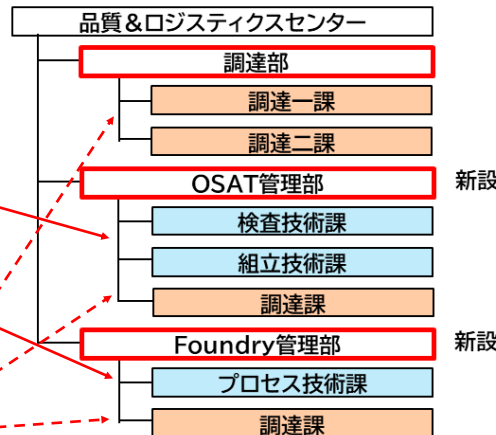
今般、「Integration2.0」における「グローバル品質マネジメント」および「グローバルサプライチェーンマネジメント」機能の一体化により高効率な組織運営とアウトプットの最大化を図ります。

具体的には、品質&ロジスティクスセンター傘下に「OSAT管理部」と「Foundry管理部」を新設し、マニファクチャリングセンター アセンブリプロセス技術部傘下の「検査技術課」「組立技術課」を「OSAT管理部」に、ウェアプロセス技術部傘下の「ファンダリプロセス技術課」を「Foundry管理部」に移管します。また、同センター調達部傘下の調達機能を再編し、一部の機能を「OSAT管理部」と「Foundry管理部」に移管します。

2. 体制図 【現在】



【5月1日付】



3. 実施日 2024年5月1日

NTJ労組のスタンス

今回の組織変更は、オペレーションレベルの機能統合を推進する「Integration2.0」の具体的な取り組みのひとつとして、委託先マネジメントと品質のさらなる競争力の強化と生産性の向上を図るための施策と理解しました。

労働組合としても、NTCとNTCJが両社の強みを活かしてOne Teamとして品質および生産の改善活動を推進することは、今後の会社の事業基盤の強靱化に向けた取り組みとして重要と考えます。しかしながら、今回の組織変更はセンターを超えた組織変更であり、現行の該当職場ならびに関連部署に影響が出ると考えます。本施策の目的を達成するためには、中長期的な視点でのマネジメントに加えて、職場視点で徹底して論議したうえで、想定される課題に対して先手を打つことが重要と考えますので、職場からの課題提起・意見提起をよろしくお願いします。

今後のスケジュール

